

# 奈良県の労働市場の動き（令和4年7月分）

・有効求人倍率（季節調整値）は1.27倍で、前月より0.01ポイントの増加となり6ヶ月連続で1.2倍を超えています。

・全国は1.29倍で、奈良県は0.02ポイント下回りました。  
 ・近畿ブロックは1.18倍で、奈良県は0.09ポイント上回りました。

・有効求人数（季節調整値）は23,367人で、前月より0.8%の減少となり5ヶ月ぶりの減少となりました。

・有効求職者数（季節調整値）は18,401人で、前月より1.9%の減少となり4ヶ月ぶりの減少となりました。

・新規求人倍率（季節調整値）は2.23倍で、前月より0.24ポイントの上昇となりました。

・新規求人数（季節調整値）は8,608人で、前月より5.9%の増加となりました。

主要産業の新規求人状況を前年同月比でみると、「建設業」「運輸業、郵便業」を除く各業種で増加しました。

建設業（前年同月比5.3%減）、  
 製造業（同33.4%増）、  
 運輸業、郵便業（同0.9%減）、  
 卸売業、小売業（同0.0%同水準）、  
 宿泊業、飲食サービス業（同73.4%増）、  
 医療、福祉（同10.1%増）、  
 サービス業（他に分類されないもの）（同6.0%増）

・新規求人数（原数値）8,099人のうちパート求人は3,998人でした。パート求人比率は49.4%でした。

・新規求職者数（季節調整値）は、3,858人で前月より5.7%の減少となりました。

・雇用保険受給資格決定件数は936件でした。  
 前年同月比で12.4%の減少となりました。  
※雇用保険受給資格決定件数は速報値であり、修正があり得ます。

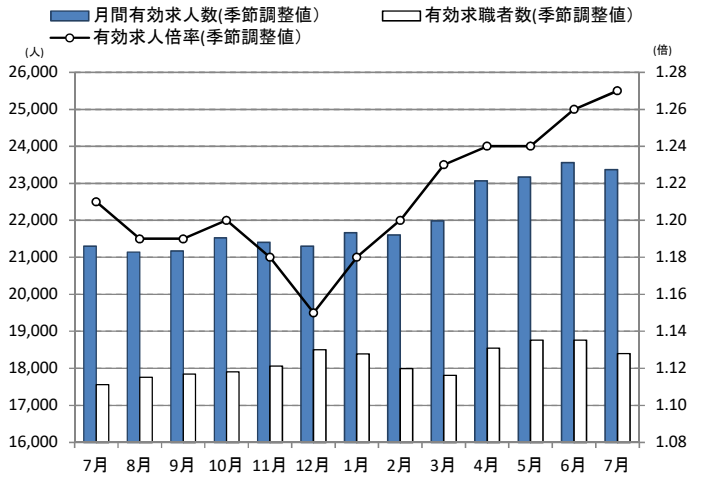
・雇用保険受給者実人員は4,270人でした。  
 前年同月比で9.1%の減少となりました。

(注)・求人倍率等(季節調整値)については、季節調整替えが行われ、令和3年12月以前の数値は改訂されています。季節調整法センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)により改訂。

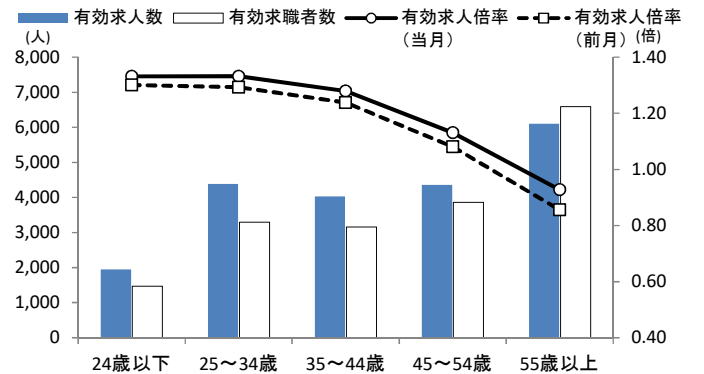
・求人倍率や求人数には、県内のハローワークが受理した求人数を用いた「受理地別」、実際の就業地が県内である求人数を用いた「就業地別」があり、本資料においては「受理地別」を用いています。

・ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で求職登録した求職者数が含まれています。

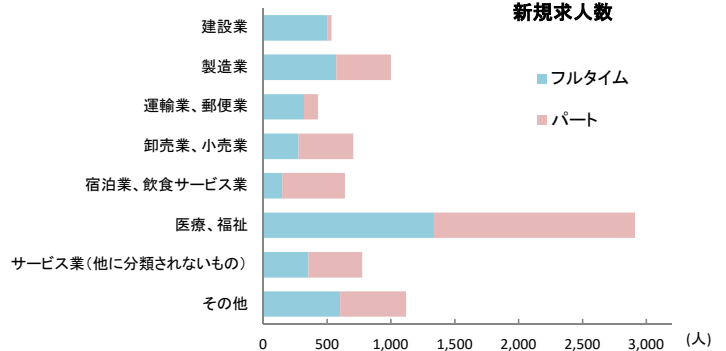
月間有効求人・有効求職・有効求人倍率の動き(パートを含む)



今月の年齢階層別有効求人・有効求職状況(常用・パートを含む)



新規求人数



新規求人の産業別割合

